

中守破離



令和7年7月9日（水）第10号

1年生が「新聞作成講座」を体験しました ～新聞記事の構成や読み方などを学習しました～

6月26日（木）、中国新聞社NIEコーディネーター 芳川 真理 様を講師としてお招きし、1年生対象に出前授業「新聞作成講座」を行いました。

NIE（Newspaper in Education＝「エヌ・アイ・イー」と読みます）とは、若年層の文字離れ、読書嫌いの傾向に歯止めを掛け、児童生徒が活字文化に親しむ方法の一つとして、新聞記事を使って行う教育のことを言います。



今回の「新聞作成講座」では、最初に新聞の一面のつくりについて説明がありました。新聞の一面は、新聞の名前である「題字」、トップ記事である「頭」、準トップの「肩」、次に重要な「へそ」と呼ばれる記事から構成されているなど、興味津々の内容から始まりました。また、新聞記事のタイトルは人々の関心を引くように考えられていることや、最初の文章であるリード文は「5W1H【When（いつ）・Where（どこで）・Who（だれが）・What（何を）・Why（なぜ）・How（どのように）】」と「重要語句」を押さえて、伝えたい内容を簡潔に要約していることなどを学んだあと、新聞記事の見出しを考えたり、5W1Hを踏まえて記事を書いたりしました。

このような新聞の読み方を知っていると、楽に新聞記事を読むことができたり、更に新聞記事の書き方などに興味が湧いたりすると思います。そして、新聞記事をじっくり読む力（読解力）が身に付き、自分の思いや考えを分かりやすく伝える力（表現力）の向上につながります。何より「読むこと（読解力）」「書くこと（表現力）」は将来の人生を大変豊かにします。

「みんなの新聞コンクール」もありますから、生徒の皆さんの作品が出品できるといいですね。今回の「新聞作成講座」で学んだことを生かして、夏休みに作品の制作に取り組んでもいいですね。期待しています。



マナー講座を実施しました ～呉阪急ホテル 松下 望美 様にご指導いただきました～

今年度の「呉市キャリア・スタート・ウィーク（3日間の職場体験）」は2年生を対象に、8月19日（火）～21日（木）に行います。地域の教育力を最大限に活用し3日間の職場体験を行うことによって、勤労観や職業観を育みながら「社会的・職業的に自立すること」を最終的な目標としています。

7月1日（火）の5・6校時には、呉阪急ホテル 松下 望美 様を講師にお招きし「マナー講座」を実施しました。まずは、社会人として大人として必要なマナーとは何かを学びながら、職場における様々な場面を想定した言葉遣いや対応などを教えていただきました。そして、模範を示していただいたあとには、ペアとなって実演しました。互いにタブレットで撮影し、自分の様子を確認することもできました。

呉阪急ホテルで実際に接客されておられるプロフェッショナルである松下様から、直接ご指導いただくことはめったにない貴重な体験となりました。生徒の皆さんは緊張しながらも精一杯頑張っていましたし、授業を終えての生徒の皆さんの様子や感想からは、「3日間の職場体験」に向けたモチベーションが更にアップしたと感じられました。

松下様、大変おいそがしい中、本当にありがとうございました。また、本校からも呉阪急ホテルへ職場体験でお世話になりますので、今後ともよろしく願いいたします。



不審者に出会ったら？～「いかのおすし」～

呉市のホームページには、呉市教育委員会学校安全課が各小中学校等から報告を受けた不審者情報がアップされています。小学生や中学生、高校生への声掛けや付きまといなどの不審者情報は後を絶ちません。

子どもたちを被害から守るためには、「地域の子供達は地域で守る」という高い防犯意識を持って取組を進めていくことも大切です。また、子どもたちは、危険に遭遇した場合に自ら回避できるよう、身を守るための防犯知識を身に付けることが必要です。

具体的には、できる限り登下校は複数で、もし不審な行動に遭遇した場合はすぐに110番通報したり、「子供110番の家」など近くの大人に助けを求めたりすることです。

学校朝会や学活などで、不審者への対応について指導していますので、御家庭におかれましても御指導いただきますよう、よろしく願いいたします。

